

## 郡山市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕 実績報告

## 1 郡山市地球温暖化対策実行計画〔区域施策編〕の概要（2011（平成23）年3月策定）

## ➤ 温室効果ガス削減中期目標

2020（平成32）年度における温室効果ガス排出量を2007（平成19）年度比で**25%削減**する。

## 2 郡山市における温室効果ガス排出量（2018（平成30）年度）

単位：千 t-CO<sub>2</sub>

温室効果ガスの種類、排出部門	2007年度 (平成19) <基準年度>	2020年度目標 (令和2) <2007年度比>	2018年度実績 (平成30) <2007年度比>	評価
温室効果ガス総量	2,973.6	2,230.2 (-25.0%)	2,361.5 (-3.8%)	△
産業部門	965.5	845.8 (-12.4%)	793.8 (-27.5%)	◎
民生家庭部門	583.9	405.2 (-30.6%)	545.6 (-6.6%)	△
民生業務部門	604.4	442.4 (-26.8%)	599.2 (-0.9%)	△
運輸部門	680.1	563.1 (-17.2%)	896.9 (+31.9%)	×
その他（エネルギー転換部門、廃棄物、メタンなど）	139.8	103.7 (-25.8%)	119.5 (-14.5%)	○

◎	目標年度における目標をすでに上回っている	△	このままでは、目標達成にはかなりの努力が必要
○	このまま取り組みれば、目標達成の可能性が高い	×	このままでは、目標達成の可能性が低い

※ 四捨五入の関係などで合計値と内訳の合算値が異なるものがあります。

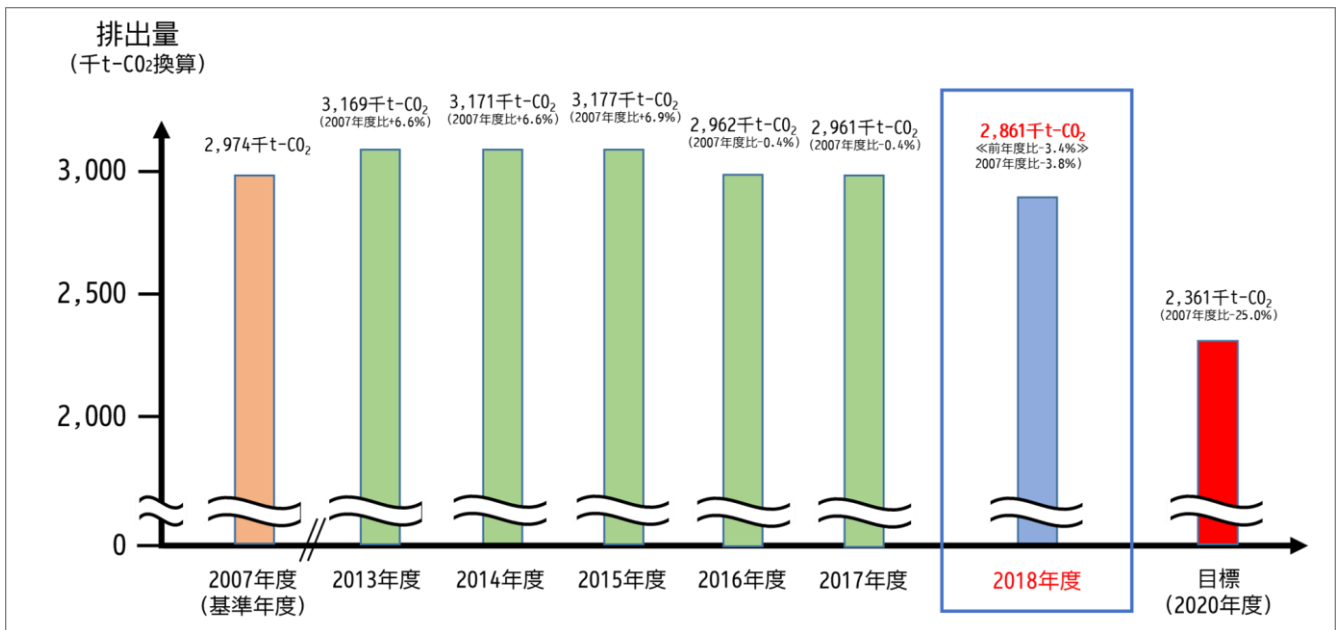
※ 2020年12月に、算定に使用する「都道府県別エネルギー消費統計（1990年度から2018年度分）」が改訂となったため、計画策定時の数値及び目標年度の数値を変更しました。

※ 統計等の資料で2017年度の値が確認できないものに関しては、確認できる最新のものを使用しています。

## 3 分析（目標未達成の要因等）と対策について

- ◆郡山市における温室効果ガス排出量は、基準年度比で3.8%削減となり、目標は達成できませんでした。
- ◆民生家庭部門及び民生業務部門は基準年度と比べ減少しているものの、2020年度の目標達成には厳しい状況であることから、今後においてもクールチョイス啓発活動等により低炭素型の行動変容を促すことが必要です。
- ◆運輸部門については、基準年度と比べ、大幅に増加しており、郡山市内の自家用車の保有台数が増えたことが要因と考えられます。目標達成の可能性が低い状況となっていることから、今後はFCV等の次世代自動車を率先して導入していくとともに、普及啓発活動に取り組むことが必要です。

【郡山市の温室効果ガス排出量の推移】



【部門別の温室効果ガス排出量の推移】

